

会議録

1 会議名

令和7年度第5回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○諮問事項（公開）

- ・上越市過疎地域持続的発展計画（案）について

○報告事項（公開）

- ・板倉区高齢者アンケートについて

○その他（公開）

3 開催日時

令和7年11月21日（金）午後6時00分から午後7時00分まで

4 開催場所

板倉区総合事務所 2階 201・202会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委員：小林会長、植木副会長、秋山委員、新井委員、小川委員、釜田委員、
小林委員、庄山委員、中澤委員、藤原委員、山本委員
- ・事務局：板倉区総合事務所 宮下所長、小林次長、名倉次長、高橋建設グループ長、佐藤産業グループ長、長谷川市民生活・福祉グループ長、丸山教育・文化グループ長、千葉地域振興班長、宮澤主事
地域政策課 白倉副課長

8 発言の内容（要旨）

【小林次長】

- ・会議の開会を宣言

【小林会長】

- ・挨拶

【小林会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
- ・会議録の確認を新井委員に依頼。

では、3諮問事項、上越市過疎地域持続的発展計画（案）について、事務局から説明をお願いしたい。

【白倉地域政策課副課長】

- ・資料1に基づいて説明

【庄山委員】

14ページの上越市持続的発展方針に「安心安全、快適で開かれた地域を目指します」とあるが、ニュースでも騒がれているクマ対策について書かれていない。専門家によると、2年後さらに被害が広がることなので、2年後に向けての対策を考えていった方がいいと思うが、どのようにお考えか。

【白倉副課長】

まず、14ページの上越市持続的発展方針の部分は、第7次総合計画から引用している。現在の総合計画は、来年度以降、改定が予定されており、その際に更新されるものと考えている。クマ被害の件だが、具体的な計画については、農作物の被害等で一部分に記載があるが、いただいたご意見は担当課に伝える。また、この計画の大枠に沿って、各年度の事業を検討していく際に、そういった社会情勢等に対応しながら、各課で事業を検討していくので、ご意見は関係課へ伝えて、事業の検討の参考にさせていただく。

【新井委員】

板倉区住民ワークショップでは、人口の維持、増加、移住者の増加を考えているが、住むためには、ライフラインや道路が必要となる。市道の改修は、平場に比べ山間地では進んでいないというデータがあったかと思う。魅力的な移住地となるには、道路や水道の整備はもとより、その後の道路の維持管理が大切である。山間地

では草が生い茂る道路が散見されるので、舗装して終わりではなくて、維持管理も考慮していただきたい。

【白倉副課長】

整備の項目は記載しているが、その後の維持管理については記載していない。道路整備計画やそのほかの計画など、それぞれ所管課が計画を持つ中で、日々の維持管理等が行われていくものと考えているが、委員のご懸念点については、担当課へ伝える。

【中澤委員】

過疎地域を発展させるため、持続的に維持管理をしていくことであるが、これにどれだけ行政が支援できるかだと思う。お金の貼り付け方によって、政策の展開のスピードが変わるとと思うし、地域によっては重要なポイントがだいぶ変わってくる。具体的な予算配分やタイムテーブルは出来上がっているものなのか。

【白倉副課長】

本計画は、総花的な計画になっている。どの事業にどういった費用がかかってくるかというのは、毎年の予算編成の中で、各担当課が検討しながら進めていくことになる。

過疎計画に掲載している事業については、内容によって過疎債という有利な借金を使うことができるため、市が事業を検討する中でも、一般財源の負担が少ない方が事業化の可能性も高くなる。そうした面でいえば、過疎計画に掲載している事業については、優先的に事業の検討が進められるのではないかと考えている。

【中澤委員】

そうすると、地域の特性によって取り組みたい中身が変わってくると思うが、事業の采配は総合事務所にどのくらいの権限があるのか、それを決めるのはどこか。全部、木田庁舎の担当課がやるのか、地域を一番知っている総合事務所である程度采配ができるのか。

【白倉副課長】

市の予算編成全般の話になるが、総合事務所があり、木田にそれぞれの所管課が

ある。各課の方で予算を取りまとめる中で、総合事務所の現状等も把握しながら、それぞれ優先順位をつけて予算化しているので、総合事務所の実態を把握した上で、事業化に向けて検討を進めている。

【釜田委員】

こういう計画を見たとき、行政だから仕方ないのかといつも思うが、この項目を見ただけでは、優先順位や重要性が分かりにくい。例えば、上越市を発展させるために人口を増やすと掲げたときに、人口を増やすためはどういうやり方があるのか、そのためにはどんなところが協力すればいいのかなどを考えて計画を立てる方が分かりやすいのではないか。

【白倉副課長】

上越市には総合計画という最上位計画があって、それをもとに各部署での計画を立てている。過疎計画もその一つであり、総合計画と整合を取るような形で、過疎地域における事業を抜粋した計画という記載になっている。委員がおっしゃるとおり、どこを優先的にという判断でこの計画は作っておらず、どれも大切だという作りになっている。どの事業が優先的になるかは、その時点での情勢や政策の考え方などによって毎年決まってくると考えている。個別の具体的な計画を立てていく中では、委員がおっしゃるような観点も必要になってくるかと思うが、この過疎計画はそういうものではないことをご理解いただきたい。

【小林会長】

本日出された意見、要望については、今後の具体的な展開に反映していただけるようにお願いしたい。

それでは、諮問第131号 上越市過疎地域持続的発展計画（案）について、地域住民の生活に支障はないものと認め、答申してよいか。賛成の方、挙手願います。

(委員挙手)

出席者全員の賛成ということで、意向を確認できた。答申書の確認については、私と副会長に一任をいただいてよいか。

(異議なし)

【白倉副課長】

いただいたご意見は各担当課に伝え、今後の市政運営に努めていきたいと思う。

【小林会長】

続いて、4報告事項、板倉区高齢者アンケートについて、事務局から説明をお願いしたい。

【小林次長】

高齢者アンケートについては、町内会の代表者として、町内会長または老人クラブの会長に配布し、50町内会のうち46町内会からも回答をいただいた（回収率92%）。また、町内会を代表して、60歳以上の個人の方からアンケートに答えていただき、総数226人に対して205人から回答があった（回収率90.7%）。このうち、代表者アンケートについては12町内会（全体の26.1%）、個人アンケートについては41件（全体の20%）がインターネットによる回答だった。

・資料「板倉区高齢者アンケート」に基づき説明

本日の資料は速報値として提出したものであり、今後、健康福祉部会がクロス集計などによって分析を進めると同時に、個々の集計が調査紙とウェブで重複していないかなどの精査もしていきたい。

【小林会長】

説明にあったとおり、単純に集計された速報値ということで解釈をしていただきたい。この結果について、担当された健康福祉部の釜田座長、一言あればお願ひしたい。

【釜田委員】

健康福祉部会の皆さんと事務局から協力いただき、アンケートを実施することができた。感謝申し上げる。部会では、もう一度中身を検討し、分析までできるかは分からぬが、住民が何に困っているのか皆さんに気付いていただけるような解釈ができればと考えている。地域の皆さんに何とか役立てるような資料になるよう頑張っていきたい。

【小林会長】

今後、部会で内容の分析や項目の在り方等についてご検討いただき、最終的に地域協議会で内容を確認した上で、住民の皆さんと共有を図っていきたいと考えている。質問や意見はあるか。

【中澤委員】

例えば「生きがいについて」という項目では、おそらく年代別によってニーズが変わってくると思われる。また、「不安な事柄」では、「加齢による身体変化」が突出して多いが、これはどの世代の方がそう感じているかというところまで深掘りできると、どういう対応をすればいいか、あるいは我々としてどういう支援をすればいいかということが講じやすいので、全部でなくていいが、突出した数値のところは年代別に分析をしていただけすると、より分かりやすい資料になるのではないかと思う。

【小林会長】

ただ今の意見については、アンケートを分析する際に十分検討いただくようお願いしたい。

5 その他、事務局から何かあるか。

【小林次長】

- ・地区まち交流会について

【千葉地域振興班長】

- ・諮問事項「板倉保養センターの利用時間及び休館日の変更について」の答申について

- ・上越市新年祝賀会の案内、次回の地域協議会について

【小林会長】

以上で予定した議題を全て終了する。

【植木副会長】

- ・閉会の挨拶

【小林次長】

これで、第5回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-78-2141 (内線123)

MAIL : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。